



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## Weekly Report



会長／野澤幸弘 幹事／野口雄介  
広報委員会／若林俊彦・山田哲史

例会日／火曜日 12:30～13:30  
例会場／会津若松駅前 会津迎賓館  
tel.0242(25)3311

事務所／会津若松市追手町 3-24  
tel.0242(29)5866  
fax.0242(38)2895

URL <http://www.aizujonan-rc.com>

2012年2月21日(火) 第1293回(本年度31回)例会

## 会長挨拶

湯田 和廣 副会長



皆さんこんにちは。本日は野澤会長欠席の為、代理で挨拶をさせていただきます。12年前の会長時を思い出しながら今、ここに立っております。

さて我がクラブは現在27年目を迎えておりますが、3年後には創立30周年を迎えることとなります。はからずも昨年秋に、30周年時の実行委員長を拝命したので、微力ではありますが任務を全うしたいと思います。そこで新年早々ではありましたが、ポップステップジャンプを3年後見据えてクラブの求心力何上力を目指したいとの思いから1月27日に、黄鶴桜に於いて、在籍10年以上の会員の皆様全員に呼びかけて、退会防止を含めての支援を協力の依頼をさせていただきました。先輩ロータリアンから学ぶことは数多くありました。今後共ご教示頂きたく宜しくお願い致します。一方2月14日の例会では特別プログラムを立てて27年前の創立当時の数々のエピソードをチャーターメンバーの方々にパネルディスカッション方式で語って頂きました。当時の写真などからあの時代こんな顔でした?若かったよなあ?など大いに盛り上がり楽しい例会となりました。野口幹事、大竹江レクトを中心に、準備、進行して下さいました皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

又余韻さめやらぬうちに、その日の夜には桐屋権現亭に於いて、在籍10年未満の会員に通知してありましたので、会員増強を含めたファイヤーサイドミーティングを開催し、参加者にロータリーに対する思いなどを、あつく語って頂きました。大変参加者になったと喜んでもらいたい今後も機会をつくって継続して行きたいと思っておりました。両方共15人余の参加者でしたが和気あいあいとロータリー談義の会合が出来たことに改めて感謝致します。

話しは変わりますが私のロータリー観を少し話してみたいと思っております。「ロータリーの歴史に学び 今を知り 未来を語りたい」と常々考えております。その理念となるものは入会時に頂いた「綱領」であり、行動指針は「四つのテスト」であります。また手続要覧にあります社会奉仕に関する1923年の声明文としてあまりにも有名な名文決議23-34にある「超私の奉仕」の人生哲学であり、もう一方で1910年にシカゴ大会でAFシエルドンが唱えた「最も多く奉仕するもの最も多く報いられる」という実践理論の原理に基づいて例会に出席しています。会長今週は出張中の為、依頼を受けましたので野口幹事と共に昨日は南RCへ23日は中央RCにそれぞれ創立記念例会のご案内を頂いたのでご出席してきます。

自分の職業奉仕をクラブを通じて社会奉仕や国際奉仕ができる。こんなにすばらしいことは他にありません。クラブに入会して20年が過ぎましたが、城南RCに入っていたからこそ今の自分は存在していると思っています。仲間に恵まれ、クラブにも恵まれ毎日感謝です。私は思います。会社とロータリーは車の両輪であり、真に「人生道場」「稽古場」であると。

- 点 鐘 野澤 幸弘 会長
- ロータリーソング それでこそロータリー
- 四つのテスト 小川洋正君

### 本日のプログラム

- 会員スピーチ 山内昭君・鈴木裕君

### 出席委員会報告 — 大塚 修一 委員長

出席：17名 欠席：17名  
出席率：50% 前回出席率訂正：88.62%

### 幹事報告 — 野口 雄介 幹事

1. 3月の例会プログラム  
(受) (会津若松RCより)



## ニコニコ BOX — 木村 武美 委員長

湯田（和）君：野澤会長欠席の為代理で挨拶をさせていただきます。宜しくお願い致します。

野口君：鈴木さん、山内さんスピーチ楽しみです。よろしくお祈りします。

山田君：先週のロータリー情報、とても素晴らしい時間を過ごせました。皆様ありがとうございました。

小島君：山内さん、鈴木さん今日はスピーチ楽しみにしています。宜しくお願い致します。

山内君：本日の例会から直行する都合でラフな服装で失礼します。

木村（剛）君：救急患者で、遅くなりました。すみません。

## R 財団 BOX — 山内昭委員長

湯田（和）君：山内会員、鈴木会員本日のスピーチ宜しくお願い致します。

野口君：昨日は、南RCの42周年記念例会に湯田副会長と出席してきました。大変盛会となりました。

山内君：本日は、スピーチの時間を頂きありがとうございます。

## 米山記念奨学会 BOX — 手代木 和之 委員長

湯田（和）君：昨日は南RCに23日（木曜日）は、中央RCに会長代理で出席してきます。

山内君：毎日の除雪作業、大変です。春が待ち遠しい今日のごろです。

山田君：山内さん、鈴木さんスピーチ楽しみにしております。

## アルバム



本日は、野澤会長がお休みのため、湯田副会長が代理で会長挨拶をしました。久しぶりに演台の前に立つの会長挨拶（代理）、気合も違います。



本日は会場がいつもの4階ではなく、3階で開催しております。



本日の会員スピーチトップバッターは山内会員です。入会当時のお話や、ロータリー、仕事での恩師のお話。流通業界に入った当初のお話から独立開業に至るお話等非常に楽しく拝聴させて頂きました。



会員スピーチお二人目は鈴木裕会員。ご自分の旅行業に関する様々な提案をご紹介下さいました。震災・原発で福島への観光が危惧されるなか、一貫して会津地域に根ざした旅行企画・旅行商品を提案している鈴木会員には頭が下がります。



ランチは木村武美会員ご希望の天井が振舞われました。